

養老町観光景観林総合整備計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

ご意見	<p>今回の整備計画において、大量の不用木が出るとは思いますが、不用木の処理についてはどのようになるのか気になります。SDGsの観点からも、ただ処分するだけでなく、活用する方法を模索してはいかがでしょうか。</p> <p>例えば、揖斐の森林組合は、薪や木炭へと変えて販売や提供しているようです。養老町はキャンプの名所でもあります。また、岐阜は薪ストーブを扱う業者も多くあり、最近では新築の家でも薪ストーブを導入することが人気になっているようです。防災の視点も含め、不用木の活用を含めて計画していただけると良いと思いました。</p>
回答	<p>今回の計画エリアにあります森林につきましては、森林所有者がお見えになり、森林所有者と連携して本事業を推進することとなります。</p> <p>今回ご意見いただきました不用木につきましても、所有権は森林所有者となりますので、本計画の中で不用木の活用方法について記載するのは難しいと考えられます。</p> <p>しかし、森林所有者の同意が得られた場合は、運び出しが可能な不用木を中心に再利用を図っていきます。</p> <p>具体的には西南濃森林組合が再生可能エネルギーとしてバイオマス発電の材料として再利用を行う事を想定しております。</p>